

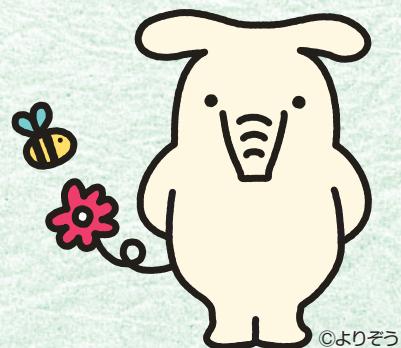
信頼のネットワーク、JAパンク

JAくまがやの現況

上半期 ディスクロージャー誌

2025

令和7年4月1日～令和7年9月30日



JAくまがや

この資料は、当JAの経営内容の開示を行い、当JAの業務につきまして一層のご理解をいただきたく作成したものであります。
今後とも皆さまの一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。

くまがや農業協同組合
代表理事組合長 吉田公一

経営方針

J Aくまがやは地域社会の一員として、地域の皆さんとともに歩んでまいります。

J Aくまがやは、熊谷市を区域として、農業者を中心とした地域住民の方々が組合員となって、相互扶助（お互いに助け合い、お互いに発展していくこと）を共通の理念として運営される協同組織であり、地域農業の活性化に資する地域金融機関です。

皆さんからお預かりした大切な財産である「貯金」を源泉として、資金を必要とする組合員の皆さん方や、地方公共団体などにもご利用いただいております。

組合員の皆さんへの奉仕はもとより、地域の皆さんに様々な事業機能やサービスを提供することにより、農業や地域経済社会の健全な発展に寄与することで社会的・公共的使命を果たしてまいります。

環境変化に伴う組合員・利用者ニーズへ適切に対応するため、信用事業および共済事業の健全性を保ちつつ自己改革の重点事項である『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を実践してまいります。

また、地域社会の一員としての責任を果たすべく、地域の各種行事や催事等への参画やJ Aの社会・文化的活動等の地域貢献活動を行っております。

今後とも地域に根ざす協同組合として“農”と“地域生活”的け橋となるべく、より良き地域社会の一員として、組合員の皆さんをはじめ地域社会の皆さんと一緒に歩んでまいります。また、昨今の世界情勢など社会を取り巻く様々な環境の変化に対応した、持続可能な事業運営体制の構築に努めていきます。

経営状況

経営状況は次のとおりです。

厳しい経営環境の中ではありますが、組合員・利用者の皆さんに安心してご利用いただけるよう厳正かつ透明な決算を実施しています。

(単位：千円)

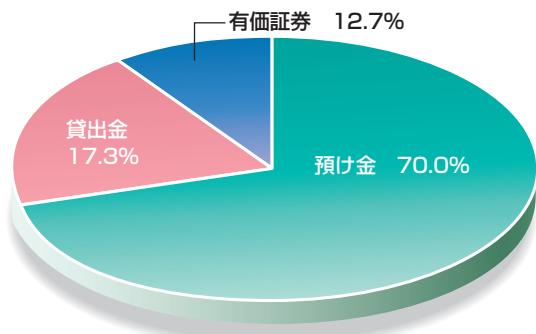
区分	R 6. 9月期	R 7. 3月期	R 7. 9月期
事業総利益	1,285,537	2,536,113	1,396,304
うち信用事業	592,586	1,134,096	672,350
事業管理費	1,190,952	2,401,321	1,229,057
事業利益	94,585	134,792	167,247
経常利益	158,892	264,168	232,828
当期剰余金	126,912	194,602	171,032

地域の多くの皆さまより信頼をいただき、貯金は2,098億円です。この大切な財産を、安全性と流動性を重視して資金運用しております。

(単位：百万円)

	R6. 9月期	R7. 3月期	R7. 9月期
貯 金	215,905	214,386	209,851
貸 出 金	33,554	33,880	35,925
預 け 金	153,092	150,525	145,097
有価証券	27,170	26,534	26,374

R7.9月期のJAくまがやの運用資産構成



※貸出金については、貸付留保金を控除した数字としています。

《ご参考：保有有価証券の時価情報》

有価証券の時価及び評価差額に関する事項は次のとおりです。

1 売買目的有価証券

当JAは、令和7年9月期における売買目的有価証券の残高はありません。

2 満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

種 類	令和7年9月期				
	貸借対照表 計上額	時 価	差 額	うち益	うち損
国 債	2,881	2,347	△534	—	△534
地 方 債	2,900	2,417	△482	—	△482
特 殊 法 人 債	1,700	1,450	△249	1	△251
社 債	12,582	11,048	△1,534	1	△1,536
合 計	20,064	17,262	△2,801	3	△2,804

※時価は、9月期における市場価格等に基づいております。

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しており、金額百万円未満の科目については「0」で表示しています。

3 その他有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

種 類	令和7年9月期				
	取得原価 (償却原価)	貸借対照表 計上額	差 額	うち益	うち損
国 債	5,002	3,865	△1,137	—	△1,137
地 方 債	320	233	△86	1	△87
特 殊 法 人 債	600	498	△101	—	△101
社 債	1,999	1,712	△287	—	△287
合 計	7,922	6,309	△1,612	1	△1,613

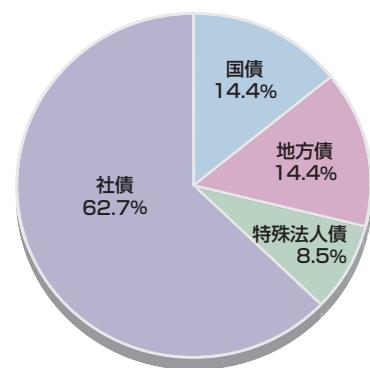
※貸借対照表計上額は、9月期における市場価格等に基づいております。

※記載金額は単位未満を切り捨てて表示しており、金額百万円未満の科目については「0」で表示しています。

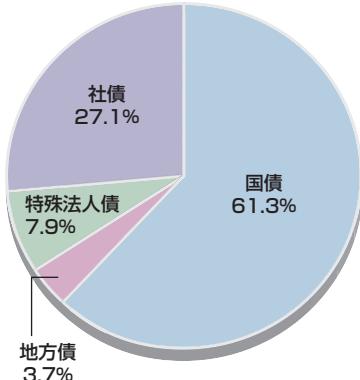
4 金銭の信託

当JAは、運用目的・満期保有目的・その他の金銭の信託にかかる契約はありません。

満期保有有価証券構成割合



その他有価証券構成割合



自己資本比率

金融機関の経営健全性を示すバロメーター … 自己資本比率も充分です。

JAくまがやは101.7億円の内部留保（特別積立金等）があり、自己資本比率は国内基準（4%）の4.2倍以上で、国際基準（8%）を上回る16.94%と、経営の健全性・安定性は保たれております。

（単位：百万円、%）

R7.9月期の自己資本の状況



	R7.3月期	R7.9月期
自己資本額	13,098	13,321
自己資本比率	16.44%	16.94%
余 裕 額	6,726	7,032

R7.9月期の計数は、仮決算結果に基づき、「農業協同組合等がその経営の健全性を判断するための基準」(H18.3.28金融庁・農林水産省告示第2号)に準拠して算出していますが、半期利益については、前年度実績の2分の1の外部流出予定額を控除して自己資本の額とし、オペレーションリスク相当額はR7.3月期の係数を用いて算出しています。
余裕額は自己資本額の内、国際基準（8%）を上回る部分の金額となります。

不良債権

不良債権に対する備えも充分です。

JAくまがやは、経営の透明性を高め、その健全性と安全性をご理解いただくために、農協法及び金融再生法に基づく開示債権の状況を開示するとともに、不良債権に対する保全状況を開示いたします。

また、適切な資産査定を行い、不良債権に対する保全をしています。

（単位：百万円、%）

債権区分と保全状況		R7.3月期	R7.9月期
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		61	93
危険債権		264	216
要管理債権		—	—
三月以上延滞債権		—	—
貸出条件緩和債権		—	—
小計(A)		326	310
保全状況	上記債権の担保・保証の額(B)	215	217
	上記債権に対する貸倒引当金の額(C)	75	63
	上記債権に対する保全率(B+C)/(A)	88.9%	90.4%
正常債権		33,575	35,637
合計		33,901	35,948

注) R7.9月期の計数は、9月末の仮決算において3月期決算と同一に当JAの資産査定要領により実施した自己査定結果、並びに資産の償却・引当基準に基づき計上したものです。

貸倒引当金については、キャッシュフロー割引（回収可能性を割引）等を控除した金額を計上しています。

【用語の説明】

- **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**…破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権をいいます。
- **危険債権**…債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権をいいます。
- **要管理債権**…「三月以上延滞債権」と「貸出条件緩和債権」の合計額をいいます。
- **三月以上延滞債権**…元本又は利息の支払が約定支払日の翌日から三月以上遅延している貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権及び危険債権に該当しないものをいいます。
- **貸出条件緩和債権**…債務者の経営再建又は支援を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金で、破産更生債権及びこれらに準ずる債権、危険債権及び三月以上延滞債権に該当しないものをいいます。
- **正常債権**…債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がないものとして、上記に掲げる債権以外のものに区分される債権をいいます。

JAくまがやは、組合員の皆さまや地域のお客さまの着実な資産づくりのお手伝いをさせて頂いています。

組合員の皆さま・地域のお客さま

うち組合員数 17,061人

※JAにおける「組合員」とは?

地区内にお住まいや勤務の方は組合員になる資格があります。また、組合員以外のお客さまへも一定の範囲内でJAのサービスをご利用頂けますので、お気軽にお声掛けください。

地域からの資金調達の状況

当JAでは、お客さまのニーズにお応えするため、相続・退職金・土地代金・共済満期金を対象とした優遇金利定期貯金など特徴ある商品をご用意していますが、今後も新商品の開発やサービスの一層の充実に向けて努力してまいります。

貯金・積金残高

209,851百万円

出資金	2,652百万円
貯金・積金	209,851百万円

文化的・社会的貢献に関する事項 (地域との繋がり)

(1) 「地域との共生」を基本理念に小さな活動からを合言葉に、福祉、スポーツや地域活動等の活動を通じて文化的、社会的貢献活動を展開しています。

(2) 利用者ネットワークとして、各種友の会や部会を設置し、さまざまな活動を展開しています。

(3) JAだより等の広報誌やホームページを通じて情報提供やご意見を承っていますのでご利用ください。
<https://ja-kumagaya.or.jp/>

JAくまがや

常勤役職員	333名
店舗数	10店
ATM設置台数	15台
営農経済センター	4店舗
農機センター	2店舗
ふれあいセンター (直売所)	5店舗



地域への資金供給の状況 (貸出金に関する事項)

お客さまからお預かりした大切な貯金・積金を、資金を必要とされている組合員、地域にお住まいの方や事業者の方々へ資金を適正に供給し、農業や地域経済の活性化に寄与しています。

貸出金残高

35,925百万円

組合員	29,732百万円
地公体等	6,118百万円
その他	74百万円

* 制度融資の実績
農業近代化資金 159百万円
* 農業支援融資商品
営農ローン／農業近代化資金etc.
* 個人向けローン、事業者向け融資についても各種ご用意しています。

貸出金以外の運用に関する事項

安全性と流動性を重視した安定収益のためJA県信連預金や国債等の有価証券で運用しています。

JA県信連等預金残高	145,097百万円
有価証券残高	26,374百万円

組合員の皆さま・地域のお客さま

※計数は、令和7年9月末現在です。なお、記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しています。

※貸出金については、貸付留保金を控除した数字としています。

※記載内容、商品についてご質問等がございましたら、お気軽にお声掛けください。

JAバンク・セーフティーネット・JA店舗の紹介

JAバンクは、「破綻未然防止システム」と「貯金保険制度」により「JAバンク・セーフティーネット」を構築し、組合員・利用者の皆さんに、より一層の「安心」をお届けしています。

破綻未然 防止システム

破綻未然防止のための
JAバンク独自の制度



貯金保険制度

貯金者の保護のための
公的な制度

身近で便利 JA店舗

本 店 TEL.048-521-6061

本店営業課 TEL.048-521-0878

成宮支店 TEL.048-524-8686

佐久良支店 TEL.048-524-8690

山王三尻支店 TEL.048-522-4564

奈良中条支店 TEL.048-524-8734

別府玉井支店 TEL.048-532-6307

妻沼西支店 TEL.048-588-1667

妻沼東支店 TEL.048-588-0049

江南支店 TEL.048-536-1392

大里支店 TEL.048-536-0518



JAくまがや



組合員・利用者の皆さんに、
より一層の「便利」と「安心」
をお届けするための農協金融
システムが「JAバンクシステム」
です。このシステムに
一体的に取組むJAバンク
(JA・信連・農林中金) の金融
店舗には、「JAバンク会員マ
ーク」が掲示されております。

2025上半期ディスクロージャー誌 令和7年11月製作

JAくまがや（くまがや農業協同組合）企画管理部

〒360-0014 熊谷市箱田5丁目8番2号

TEL 048-521-6061 (代表)

【JAホームページ】 <https://ja-kumagaya.or.jp/>